



えんぶいり

國立病院機構八戸病院

発行元:独立行政法人国立病院機構八戸病院
National Hospital Organization
Hachinohe National Hospital
〒031-0003 八戸市吹上3丁目13番1号
TEL 0178-45-6111 FAX 0178-43-7814
ホームページ
<http://www.hosp.go.jp/~hatinoh/>

平成28年1月発行 第60号

年頭のご挨拶



院長 蘭藤 順

皆さん、明けましておめでとうございます。

昨年は、常勤医（医長2人と医師1人）を含む職員の想定外の退職が相次ぎ、人員確保のために事務部長・看護部長はじめ病院スタッフに大変な苦労をかけた年でした。幸い看護師・療養介助要員等は必要数を確保できており、医師も絶対数は少ないものの内科医長（川上先生；平成29年1月1日より診療部長に昇任）と小児科医師（神田先生；同じく小児科医長に昇任）の働きと国立病院機構内他の病院からの応援ならびに外部医師による診療支援を得て、少人数ながらも日々の医療継続に必要な人員を確保できたので、何とか心穏やかに新年を迎えることができました。今後さらに人材特に医師の確保に努め、安全で安心できる医療と療養福祉サービスを安定して提供したいと考えています。

以上のような経緯があったものの職員の皆が病院全体としての活力は保ってくれ、大過なく日常業務を遂行してくれております。平成28年度の病院目標に挙げた「訪問看護の開始」や「医療安全管理委員会の整備」、「クオリティーマネジメント委員会の設立」、「患者家族への丁寧な説明の励行」などを行なうことが出来ました。

まだまだ不十分なことが多いと思われ、たとえば「訪問看護の充実；多職種の参加促進など」、「入院患者さんへのリハビリテーションの再強化」、「患者さん・ご家族に対しての敬意を込めた応対」などを早期に目指したいところです。

最後にもうひとつ、言葉では書けるものどうやって実現するものか私の乏しい知識と経験では分からぬのですが『院内の各部署・各職場が知識・能力を身につけたプロフェッショナルとしての矜持を持つ者が集う、互いに尊敬しつつも馴れ合いや甘えすぎに陥らない、それでいて風通しの良い職場であること』を目指したい、目指してもらいたいと思っています。皆さん御協力下さい。

以上、年頭のご挨拶を述べさせて頂きました。当院職員に向けての内容が多くなってしまいましたが、患者さん・ご家族、他の医療機関の方々に向けての誓いの言葉でもあるとご理解下さい。

基本理念

私たちは
すべての患者さまとご家族に
信頼され満足していただける
確かな医療と生活支援を
めざしております

基本方針

- 一 病院組織の運営と地域における役割を果たします
- 二 患者さまの権利と安全の確保に努めます
- 三 療養環境と患者サービスに努めます
- 四 診療の質の確保に努めます
- 五 看護の適切な提供をいたします
- 六 病院運営管理の合理化に努めます

目次：

年頭のご挨拶	1
院長 蘭藤 順	
～第70回国立病院総合医学会へ参加して～	2
主任栄養士 杉村雄一郎	
職員親交会の忘年会を開催	2
PP@P須藤	
～吹上公民館祭り(健康相談)に参加して～	3
調理師長 北川 優子	
年男・年女に	
聞きました 2017酉年編	3
地域医療連携室からのお知らせ	4
外来担当医表	4
病院案内	4
編集後記	4

～第70回国立病院総合医学会へ参加して～

主任栄養士 杉村 雄一郎



11月11日、12日に沖縄で開催された、第70回国立病院総合医学会のポスター SESSIONに参加してきました。

会場へ行くまでに、慣れない沖縄の気候でどっと疲れてしましましたが、栄養のポスター SESSIONでは、今年度に当院栄養士・調理師・ST・看護師で連携して実施した嚥下食の調理を交えた栄養指導の取り組みについて発表を行い、ベストポスター賞を受賞いたしました。

発表後、座長より、ポスター賞の景品と共に今後も継続して取り組みを行っていくよう励ましのお言葉をいただきました。調理を交えた栄養指導は、実施後の患者・家族の声を聞くと、とても効果的に感じられます。調理をする場所や食材料費の問題、マンパワー不足などをクリアしなければ実施が難しく、実際に取り組んでいる施設が少ないのが現状です。そういう意味でも、今後も力を入れて取り組んでいきたいと思っています。

他施設の取り組みについても聴講することができ、たくさんの刺激を受けてきました。摂食・嚥下チームでの活動、嚥下食調理指導用のビデオを用いた取り組み、嚥下食の物性を安定させるための取り組みなどが特に印象的でした。当院での活動にも積極的に取り入れ、さらに栄養管理を充実させていきたいです。そして、昨年まではあまりみられなかった病棟配属の管理栄養士の活動報告がされており、病棟の医師・看護師・コメディカルとの連携向上が、栄養管理のレベルアップに繋がると再認識することができました。

聴講後は、沖縄の名物や郷土料理を楽しみました。ソーキそば、ゴーヤーチャンプル、島ぶどう、ミミガーなどは沖縄の名物として有名ですが、この度は、スチーキー（豚肉の塩漬け）、豆腐よう（島豆腐を発酵・熟成させたもの）といった珍しい料理も体験しました。沖縄県民は長寿だとよく聞きますが、その要因として、沖縄料理がかつて中国からの影響を受けて作られており、医食同源の概念が取り入れられていることがあげられるようです。豆腐やもずく等をよく食べる、豚肉は脂を取ってから調理をする、ウコン茶を習慣的に飲むというように、沖縄の方々の健康的な志向が長寿に繋がっているようで、料理を味わいながら沖縄料理のその奥深さを知り、大変感動いたしました。

最後に八戸病院の皆様と記念写真を撮り、楽しく笑顔で八戸へ帰って参りました。八戸へ到着後、沖縄とのあまりの温度差に震え上がってしまいましたが、これからも沖縄パワーで力強く過ごしたいと思います。とても充実した二日間でした。にふえーでーびる！（ありがとうございました！）



職員親交会の忘年会を開催

PP @ P 須藤

12月19日(月)にきざん八戸にて、職員親交会主催による忘年会が開催されました。2016年の12月は寒暖の差が激しかったのですが、この日は天候に恵まれ、暖かい1日となりました。

忘年会では、はじめに蘭藤院長より「近年は病院を取り巻く環境は厳しくなっていますが、今日は忘年会を楽しんでください。」とごあいさつがありました。

続いて岩渕業務班長より乾杯の御発声をいただき、また新しく親交会に入会された職員の方からごあいさつがありました。そして普段はなかなか味わえない料理を味わいながら、談笑を楽しむ光景があちらこちらで見られました。

その後行われたカラオケ大会では、各人が参加者の後押しを受けながら楽しくそして力強く歌唱する姿が印象に残りました。最後に2016年後半にブレイクしたピコ太郎のPPAP(ペンパイナッポーアッポーペン)を参加者で踊りました。独特な歌詞の響きと頭に残るメロディが会場に流れる中、参加者は歌詞を口ずさみながら踊りを楽しんでいました。

最後は山中薬剤科長の一本締めでお開きとなりました。

忘年会が終了したあとも二次会に繰り出す姿が見られ、年末の慌ただしさが続く中、この日ばかりは夜遅くまで盛り上がっている様子が心に残りました。



～吹上公民館祭り(健康相談)に参加して～

調理師長 北川 優子

10月16日（日曜日）晴天の中、吹上公民館祭りが開催され、八戸病院は看護部と栄養管理室共同で健康相談（血圧測定・体組成測定・栄養相談）を実施しました。

血圧測定120名、体組成計測127名、栄養相談52名と、4歳～92歳までの老若男女合わせて150名弱の参加が有り、他コーナーから椅子を借りて順番待ちをしていただく程の大盛況となりました。15秒で測定出来る体組成測定結果に参加者からは、「普段は歩いたり、食べ物に気を付けているのに…」「よく「食事に気を付けましょう…」と言われるが、どういう食事が良いのか分からぬ…」などの声が多く、地域の方々の健康意識の高さが伝わってきました。

実際の血圧測定、体組成測定結果（筋肉量・体脂肪量等）に基づいた健康相談や栄養相談を受けられるのがとても好評でした。



また、順番待ちの方に対して看護部長から「1人で悩まず、いつでも隣にある八戸病院に来てくださいね」と明るく声がけする場面もあり、悩みを抱えている方の癒しになっていたようで、地域の方々からは笑顔がみられました。

公民館祭りに参加したこと、充実した一日を過ごすことが出来ました。これからも、地域の方々が笑顔で過ごせるような、健康増進への取り組みを続けていきたいと思います。

庶務班長 松本 宣仁

- A1. 金運的にも健康的にも落目で、良い思い出の記憶がない年でした。
- A2. 将来的な目標を定め突き進め年にしていきたい。
- A3. なまけもの
- A4. 生きていますか？

B 病棟看護師 坪谷 清香

- A1. 育児休暇から復職して2年目、育児の悩みや子どもの発熱などがありました。先輩や後輩、たくさんの人に助けられ、優しい言葉を掛けていただきながら、過ごした楽しい1年でした。とても感謝しています。
- A2. これまで通り、家族と過ごす時間を大切にしながら、仕事も頑張っていきたいです。興味のあることにも挑戦し充実した1年にしたいです。
- A3. イル力がいいです。
- A4. 私は今、未来の自分のために、小さな幸せをコツコツ積み上げています。12年後の自分を、今の私が必ず幸せにします！

A 病棟看護師 工藤 里恵

- A1. 2年目となり充実した1年でした。
- A2. 新しいことに挑戦して充実した1年にしたいです。
- A3. ねこ
- A4. 今よりも何倍も成長して、自分の行動に責任を持つ看護師になっていて下さい。

年男・年女に

聞きました

2017酉年編

- Q1. 昨年を振り返って、どんな年でしたか？
- Q2. 今年はどんな年にしたいですか？
- Q3. 「酉」年生まれですが、自分を動物に例えると何ですか？
- Q4. 12年後の自分に伝えたいことは？



C 病棟看護師 遠藤あかね

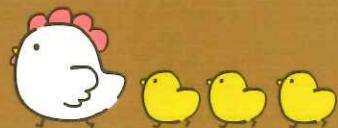
- A1. 国家試験に始まり、社会人としても看護師としてもたくさん色々な経験をさせていただいた1年でした。
- A2. 仕事もプライベートも充実させていきたいです。
- A3. マイペースなカメですかね。
- A4. 人間としても看護師としても成長していくください！

B 病棟看護師 荒谷 芽唯夢

- A1. 围りの方に支えられ、成長する機会をたくさん頂きました。ありがとうございました！
- A2. 毎日をハッピーに過ごしたいです。
- A3. げっ歯類に例えられることが多いです。
- A4. いろんなことを吸収して、素敵な人間になっていて下さい。

療育指導室長 山本 裕一

- A1. 八戸病院へ着任し5年。昨年の師走には予測もしなかった身内の不幸もあり、大変辛く寂しい年でもありました。
- A2. 好きな趣味も楽しみながら、充実した日々を過ごしたいと思っています。
- A3. やっぱり、鳥でしょう？
- A4. 好きなことは、いつまでも続けてください。





地域医療連携室からのお知らせ

私は通院でタバコをやめました！？

2017年中には施設内全面禁煙化、タバコ税の引き上げの見込み・・・喫煙者にとっては、肩身の狭い世の中になってきていますが、この機会に禁煙治療を受けてみませんか？

八戸病院では、毎週金曜日午前中に禁煙外来を実施しております。呼吸器科医師による診察を、最大5回保険適用で受けることができます。

なお、完全予約制となっておりますので、希望される方は事前に医事室（内線4311,4301）までお問い合わせください。また、喫煙量の少ない方につきましては、対象外となる場合もありますのでご了承ください。

診療援助日程 2月

青森県立保健大学 リウマチ科

渡部一郎教授 2月7日(火)、14日(火)、21日(火)
28日(火)

東北大学 リハビリテーション科

上月正博教授 1月27日(金)

東北大学 呼吸器外来

山谷睦雄教授 2月14日(火)

山形県立保健医療大学

平山和美教授 2月15日(水)

診療時間、日程等が変更になる場合があります。
また次回以降については、地域医療連携室または
ホームページにてご確認願います。

地域医療連携室 0178-45-3421
医事課 0178-45-6111(内線)4301・4311

外来担当医表

2月1日現在

診療科	月	火	水	木	金
内 科		山尾 陽子(月3回) 渡部 一郎(月1回)	蘭藤 順 (午前/予約)	関根 耕作(午前)	安ヶ平 みどり(午前)
神経内科	三須 建郎 (午前/予約)				
小児科		神田 進(午前)		神田 進 (午前・午後/予約)	
呼吸器外来					安ヶ平 みどり(午前)
リウマチ外来		リウマチ外来は下記診療援助日程のとおり。			

午前診療受付時間 8:30～11:00 午後診療受付時間 13:00～15:30 小児科外来 8:30～11:30
・ただし急患については受付いたします。 ・担当医師については変更されることがありますので電話にてご確認下さい。

病院案内図



編集後記

新しい年を迎え、皆様いかがお過ごですか。正月気分もそろそろ抜けてきた頃だと思います。

今年は酉年、気持ちを新たに、もう一年は振り返らずに、大トリをめざして1年間を駆け抜けたいものです。皆様にとって、イロハどりな幸せが訪れる1年でありますように願っております。

今年の私のモットー
“三歩 歩いたら忘れる！！”
津谷

